

東松島市医師団リレートーク 第5回

～医療現場のドクターからのメッセージ～



今回の医師団リレートークは加藤医院 加藤玲子院長からお話しいただきます。加藤先生は外科出身でありながら、市民の地域生活に必要な医療サービスの提供を目指し、「家庭医」という独自の立ち位置を確立されています。医療提供に関する専門化が進む一方、軽い症状なら何でも治す医院という原点回帰もまた、市民から求められるニーズと言えます。日進月歩の医療知識を常に最新に保ち、地域の住民である患者さんに寄り添いながら、医療提供されている加藤院長のお話をご紹介いたします。



加藤医院

かとう れいこ
加藤 玲子院長

診察時間	月	火	水	木	金	土
8:30～12:00	○	○	○	○	○	○
14:00～16:30	○	○	△	○	○	△



東松島市矢本町の内41

加藤先生からの健康基礎クイズ

- (○×で解答)
1. 帯状疱疹と水痘は同じウイルスで発症する病気である。(○か×で回答)
 2. 胃にできるポリープのうち、過形成性ポリープはピロリ菌に感染してできるので、除菌と同時に消えることがある。(○か×で回答)
 3. 50歳以上になると、帯状疱疹を予防するワクチン接種が可能である。(○か×で回答)
- 正解者には抽選で「ゆびと利用券3枚セット」を3人の方にプレゼントします。応募方法については質問受付欄(左記)を参照いただき「健康基礎クイズプレゼント係」と明記ください。
- ※健康基礎クイズには株式会社コスモスポーツから協賛をいただいています。今後も健康に関する重要情報をクイズ方式で発信し、知識の定着を目指します。また、協賛企業の募集は随時行っています。問い合わせは下記までお願いします。

■質問 健康推進課健康支援班 ☎内線3101

石野先生の健康基礎クイズの正解は

1. 訪問診療とは計画的に患者さんを訪問し診療することであり、往診とも言う。×
 2. 訪問診療に薬剤師が同行すると、医師と薬剤師が同時に症状を診るので、より患者に合った処方と投薬が可能となる。○
 3. 医療と介護が連携することは、東松島市の将来に必要なことである。○
- 正解者は、門脇さよ子さん(矢本)1人でしたので、前回正解者の中から川田あみみ子さん(大曲)、木村みわ子さん(牛橋)の合計3人にプレゼントします。

1. 外科医から「家庭医」へ
昭和48年に当院を引き継いだ際、外科としての先代のイメージが強く、外傷や骨折などで来院される方が多かったです。

現在では、軽度の風邪を含め、やけどやけが、帯状疱疹まで、この周辺に住まわれる皆さんの様々な症状を診させていきたいです。当院の場合は、○○循環器科などの専門の看板を上げていない普通の「医院」ですので、家庭医の役割を自認しています。

また、東松島市には皮膚科が無くなってしまったので、地域ニーズから、疣をはじめとする皮膚疾患や、爪白癬、爪の水虫を診る機会も増えてきました。高齢者は足の爪を切ることもひと苦労なので、手入れが遅れると重症化してしまいます。良く効く薬も最近になって開発されていますが、予防が一番です。お年寄りの足の爪に関しては、こまめな手入れ(爪切り)をお薦めします。

薄眼(うおのめ)は、削ったり切除することもありますが、ウイルスを原因とする尋常性疣贅は、傷つくと範囲が拡大するので、液体窒素で焼く治療が必要となります。

一方、粉瘤のように切除可能なものもあります。当院で処置できるものに関しては、すぐに対応していますが、大きさや程度によっては石巻赤十字病院などと連携して治療を行っています。

帯状疱疹などの当院で治療している分野については、次章の読者からの質問コーナーで回答しながら併せてお話しします。

2. 読者の質問への回答

【質問1】ポリープが見つかった場合、大

小に関わらず全部取った方がよいでしょうか。小さいものは無くなるでしょうか。(川田あみみ子さん・大曲)

【回答】この質問には、胃と大腸にできたポリープであると仮定して回答します。胃の場合には2つのケースが考えられます。①過形成性ポリープと、健康でも胃底腺領域に発症する②胃底腺ポリープです。①はピロリ菌の除菌によって消失することもあります。②は癌化の可能性があります。②は経視鏡観察程度で良いと思われれます。

一方、大腸ポリープの8割は腺腫(前癌状態)であり高確率で癌となります。残り2割は炎症性なので、以下は様子見が一般的です。

ただし、これまで述べた内容は一般論ですので、検査結果と主治医の意見を良く聞き、治療方針に従ってください。

【質問2】帯状疱疹の予防を教えてください。(後藤恵子さん・矢本)

【回答】帯状疱疹は、水痘にかかった時のウイルスが何十年も体内に潜伏していて、健康面で弱った時に発症します。50歳以上になると、自己負担ですがワクチン接種による予防が可能となりました。当院でも、依頼いただければ接種可能です。

ただし、本来は食事や睡眠、休養を心がけて体調管理に気を配ることが一番の予防です。

【質問3】運動は毎日欠かさずに行う方が効果はあるのか教えてください。(日野明美さん・大曲)

【回答】基本的に軽めの有酸素運動(自転車での通勤や散歩)は毎日行っても構いませんが、強度が高い運動(長距離や長時間

のランニングなど)に関しては、週に2〜3日程度が良いと思います。健康づくりのための運動であれば、自分が続けられる頻度とペースが一番だと思います。

3. 先生の顔を思い出したよ
当院を先代から引き継ぎ、多くの患者さんやスタッフに支えられて今日まで続けて来ることができました。でも、残念なことに当院の花壇や鉢花を管理してくださった方をはじめとし、多くの皆さんが先の震災でお亡くなりになったことは本当に寂しい限りです。最近では、そのような過去をも糧にして前進しなければと思うこともしばしばです。

患者さんに励まされることも多いです。中には薬を1カ月分処方できると言っても、「顔を思い出したいから」と2週間毎に私の診察(会診)を申し込んだりくださる方もいます。

これからも「軽い症状ならなんでも治す」という、私にできることを精一杯の姿勢で医療提供していきたいと思っています。

【質問受付欄】
本コーナーでは、みなさまの知りたい医療に関する情報を募集します。例えば、血圧が高いと健康によくない理由を教えてくださいなど、関心のある分野を結構です。いただいた質問は、専門の先生が答える間に紙面で紹介し、回答します。「健康基礎クイズ」の答えと先生への質問を記入のうえ、はがき、フロッピーディスク、電子メールにて左記までお願いします。

〒982-0811 東松島市保徳福祉部健康推進課
〒982-0811 東松島市矢本字上戸河36-1
☎023-1244

✉kenko@city.higashimatsushima.miyagi.jp